

Kariage's Live Report

— 特集 —

・パンカソウルミュージック

ロマンチスト ろまんちすと

<メンバー>

Vo. / トヨ
Gt. / 下田好太
Ba. / ザジ
Dr. / マツバラショウジ

<ウェブサイト>

sound.jp/romanticist

<ブログ>

ameblo.jp/maborosidan

<写真>

目黒 鹿鳴館。
両国 SUNRIZE。
下北沢 DAISY BAR。

聴く者の魂を激しく揺さぶる、ロマンチスト



笑う、闘う、泣く、そして愛す。 表情豊かなライブ

初めてバンドを組んだ時の喜びを陽気に歌った後に、前のめりな生き様をぶちまける。さらに、恋の高揚感を歌い上げたと思えば、誇り高く抵抗を促す。それに呼応して観客は歌い、笑い、拳を振り上げ、時に涙する。これが、パンク・フォーク・ソウル・ロックンロールを融合したパンカソウルミュージックだ。

気持ちが伝わる音楽

ロマンチストは、飾らない素のままの日本語で歌う。だから、曲に込めた暖かな気持ちや、ほとぼり出る鮮烈な感情は劣化しない。それは、ダイナミックな演奏と激しいステージングで増幅されて、観客の魂を直撃する。

いつも大きなマスクで顔を隠し、奇妙な風体を好むトヨ。彼の心の中では、新しい音楽と美しい言葉が、とめど無く湧き出している。目を細めて愛媛弁で喋るこの男の才能が、私は眩しい。



珠玉の名曲「愛しくて仕方が無いよ」

世間一般では問題視される言葉が歌詞に入っているために、放送禁止曲扱いになっているが、それは的外れな言葉狩りに過ぎない。「愛しくて仕方が無いよ」は、傷つき蔑まれて苦しんでいる人達に対する慈しみに満ちたメッセージであり、至高のラブソングだ。私は、この曲を聴くと、涙がこぼれる。

たくさんの人に、“心優しき抵抗者” ロマンチストの名曲をライブハウスで聴いて欲しい。

<このレポートについて>

刈り上げ写真館(別館)として発行しています。画像等の無断転用は御遠慮ください。刈り上げ. Kariage-100@memoad.jp

